

第37回医学情報サービス研究大会@岩手(オンライン)

【P-04】九州・沖縄EBM勉強会における研修評価アンケートの分析

水江愛子 1),2)、平山紀子 1),3)、阿部佐和子 1),2)、後藤可奈子 1),3)、
別府さおり 1),4)、佐藤正恵 5)、橋本郷史 6)

- 1)九州・沖縄 EBM 勉強会、2)福岡大学図書館医学部分館、
3)久留米大学医学図書館、4)福岡徳洲会病院図書室、
5)千葉県済生会習志野病院図書室、6)東邦大学医学メディアセンター

はじめに

- ◆九州・沖縄EBM勉強(以下、当会)は、2019年に福岡県で開催した第36回医学情報サービス研究大会をきっかけに結成した。
- ◆2021年1月から2022年6月まで、ヘルスサイエンス系図書館員向けのオンライン研修会を計4回、開催した。
- ◆第1回から研修会終了後、回答の同意を得た参加者に対し「研修評価アンケート」を実施。第1回から第3回の回答結果について分析した。

目的

- ◆研修会の成果や参加者の傾向を把握するために実施している。
- ◆今後のオンライン研修に関わる企画者、講師および参加者にとって、より有効な研修のコンテンツや方法を検討する。
- ◆設問に、学習の達成度を測るための「ルーブリック評価表」¹⁾を使用し、研修会参加前後で参加者のスキルがどの程度向上するか、参加者の属性による影響を調査し分析する。

1). 千葉大学アカデミック・リンク・センター. アカデミック・リンク教育・学習支援専門職養成プログラム. 能力ルーブリック. <https://alc.chiba-u.jp/ALPS/rubric.html>, (参照2022-7-7).

調査方法

- ◆第 1-3 回の研修会終了後、参加者にJMLA-CE コースのポイント付与条件となる「事後アンケート」を行った。
- ◆「事後アンケート」の設問に「研修評価アンケート」の回答可否を尋ね、同意を得た参加者に対し「研修評価アンケート」のフォームをメール送信し、回答を依頼した。
- ◆各回アンケートの内容が共通だった4問(設問.1-3、7)を分析対象とした。基本的に4問の回答傾向は同じだったため、第1-3回の回答をあわせたデータを使用した。
- ◆アンケートは、個人情報収集していないため、すべての回答をユニークなものとして扱った。

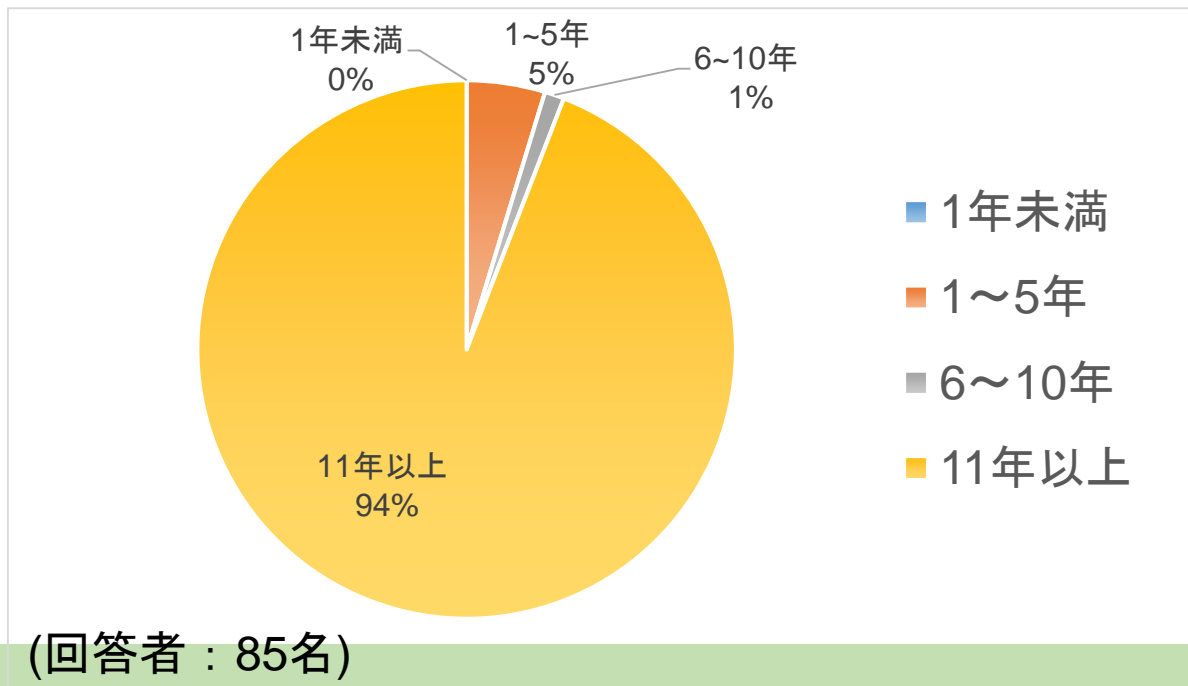
第1-3回研修会詳細

	開催日	テーマ	参加者数	事後アンケート回答者数	研修評価アンケート回答者数
第1回	2021年 1月9日(土)	初心者マークの医学論文～はじめましてPubMed、もっとPubMed!～	59名 (100%)	59名 (100%)	30名 (51%)
第2回	2021年 7月10日(土)	オープンアクセス・ジャーナル(OAJ)をめぐる話題	55名 (100%)	53名 (96%)	33名 (60%)
第3回	2022年 2月26日(土)	医学系レファレンスの相談室	56名 (100%)	55名 (98%)	22名 (39%)
			170名 (100%)	167名 (98%)	85名 (50%)

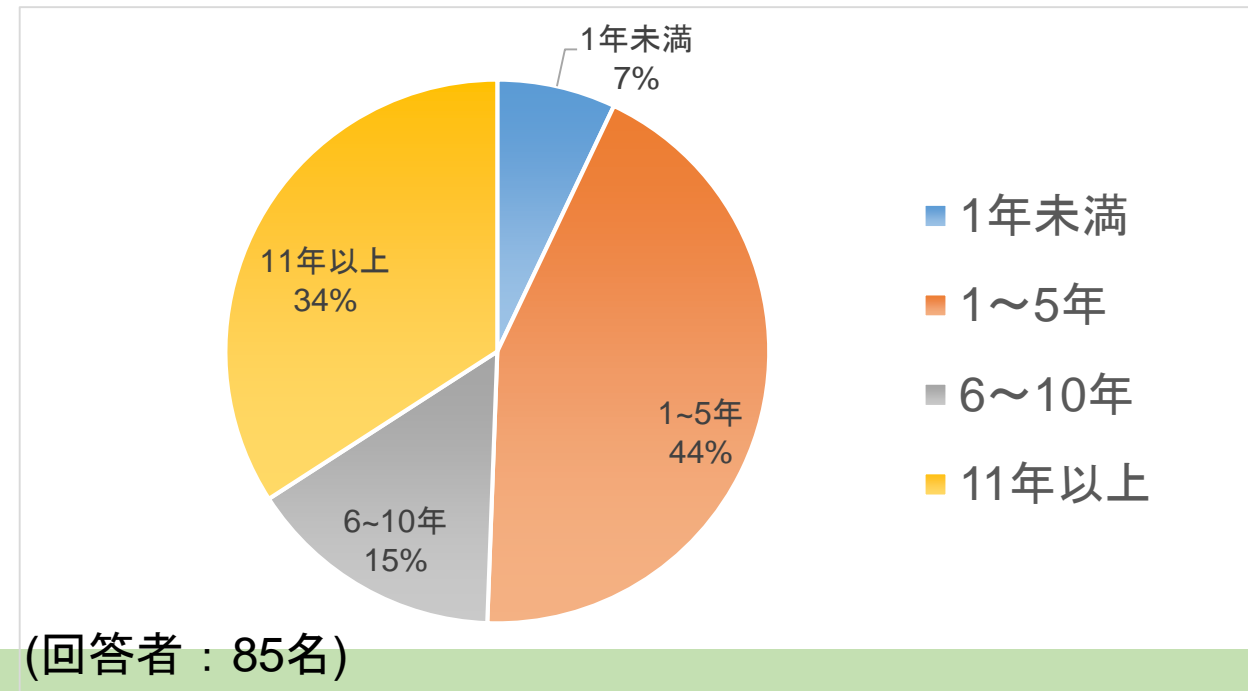
研修評価アンケート内容(設問1)

1. あなたご自身のことについてお伺いします。

1-1. 社会人としての勤務経験年数を教えてください。

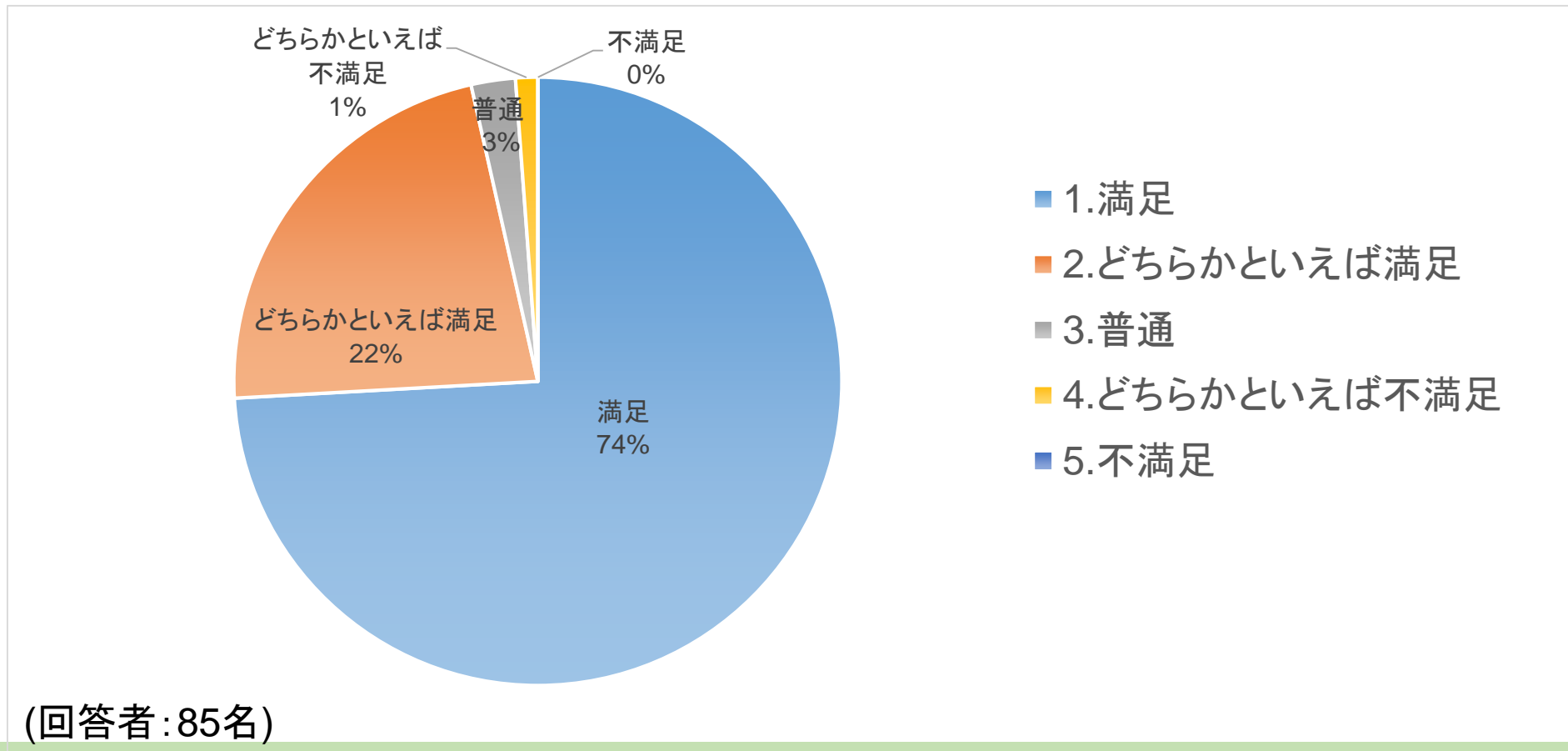


1-2. ヘルスサイエンス系図書館での勤務経験年数を教えてください。



研修評価アンケート内容(設問2)

2. 今回の研修会の内容について、満足度を5段階で評価して下さい。



アンケート内容(設問3)

3. 今回の研修会に参加する前と後で、どのように変化がありましたか？
- 3-1. 【参加前】について、以下の表から該当するものを記号(S~D)でお答えください。
 - 3-2. 【参加後】について、以下の表から該当するものを記号(S~D)でお答えください。

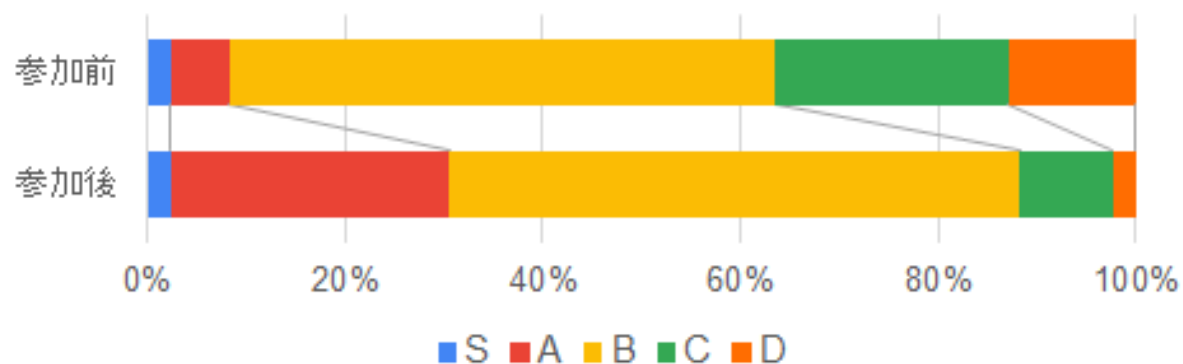
選択肢で使用した「ループリック評価表」の項目は、知識・スキルを4つの観点に分け、それぞれに5段階リッカート尺度で習熟度を設定した。自己評価は参加前後それぞれの状態について回答してもらった。

アンケート内容(設問3_選択肢(共通))

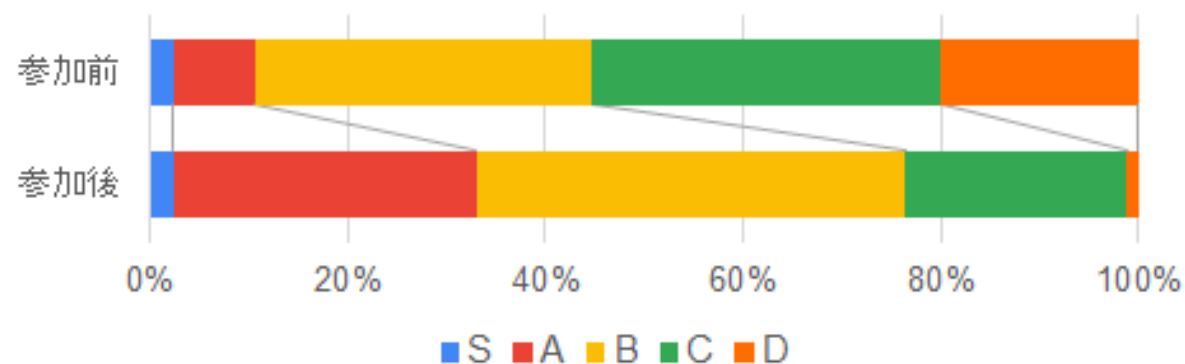
	S	A	B	C	D
1. 知識として身に付けている 例：テーマに関する知識がある	知識が豊富	知識が十分	部分的な知識はある	知識がやや不足	知識が不足
2. 身に付けた知識を説明できる 例：同僚に説明したり学生や資料者に案内ができる	説明できる	説明できそう	部分的に説明できる	部分的に説明できそう	説明する自信がない
3. 知識やスキルを実践の場の問題解決に応用できる 例：レファレンスやILL等の業務に知識を活用できる	活用できる	活用できそう	部分的に活用できる	部分的に活用できそう	活用できていない
4. 知識やスキルを発展させ、指導することができる 例：教職員や研究者向けに講義や指導ができる	継続的に講義ができる	継続的に講義ができそう	単発的な講義ができる	単発的な講義ができそう	講義をする自信がない

アンケート内容(設問3_結果)

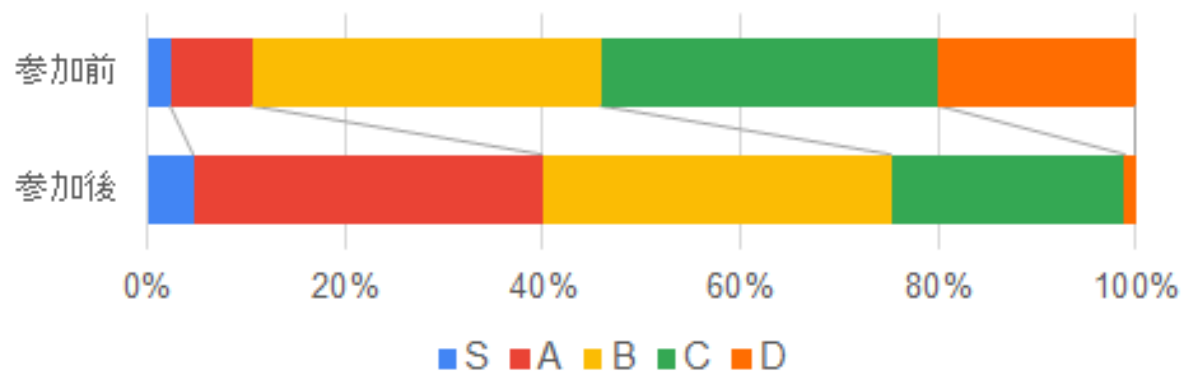
3-1.知識として身につけている



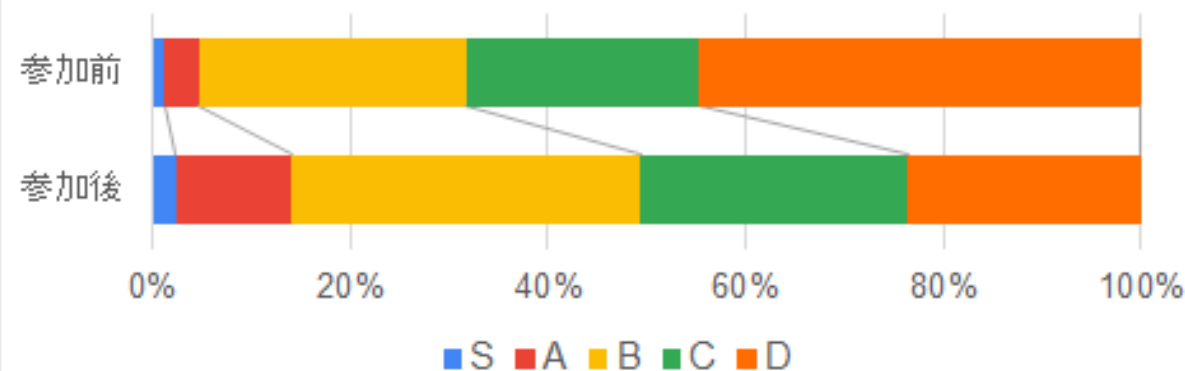
3-2.知識を説明できる



3-3.問題解決に応用できる



3-4.指導することができる



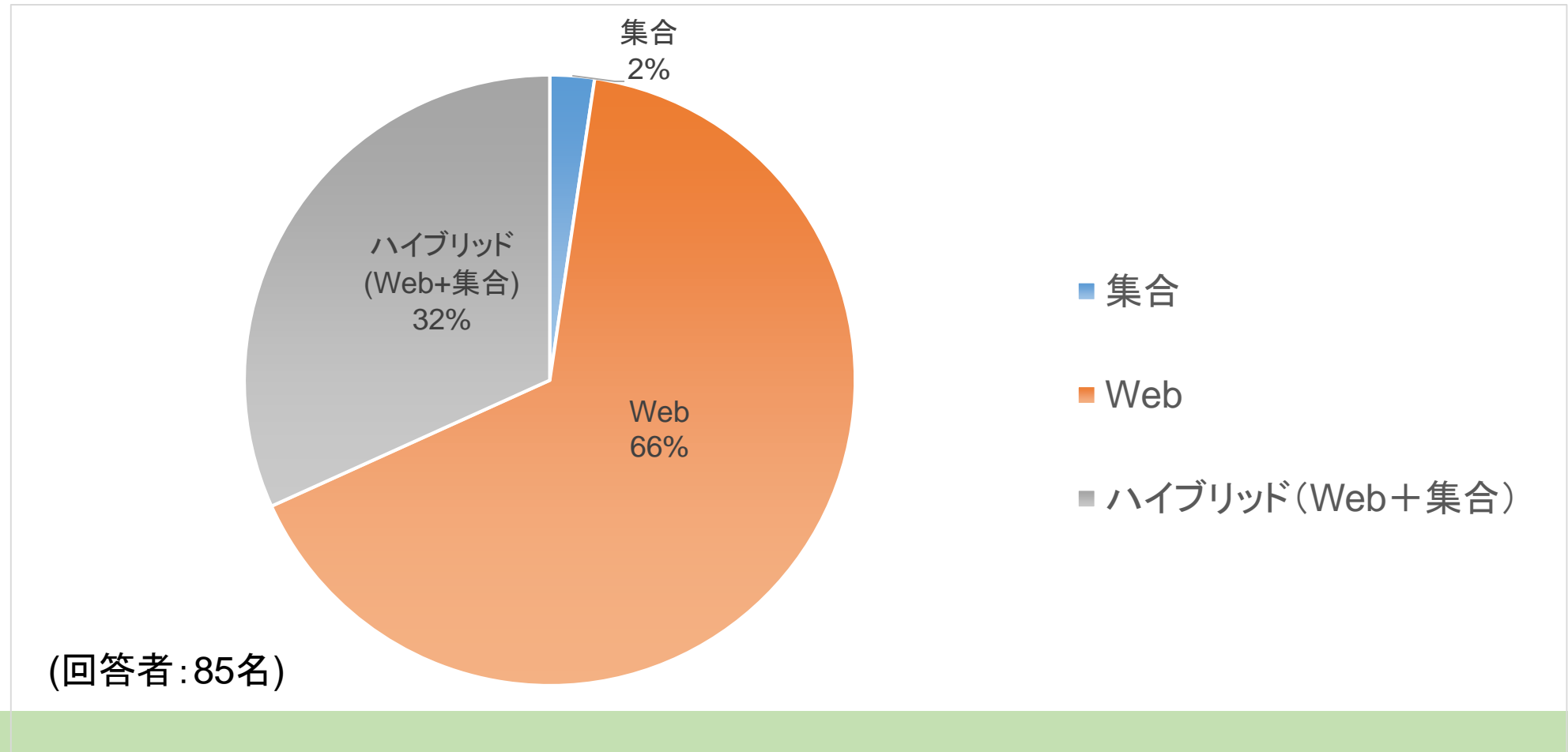
アンケート内容(設問4-6)

4. 今回の研修会で初めて知ったことがあれば教えてください。
選択肢[※研修会ごとの内容により異なる]
5. 今回の研修会でもっと深く知りたかったことや用語があれば教えてください。
選択肢[※研修会ごとの内容により異なる]
6. 今後、研修会で身につけたい知識やスキルについて教えてください。
回答は記述による

※参考までに掲載

研修評価アンケート内容(設問.7)

7. 研修会の開催は、Webと集合ではどちらを希望されますか



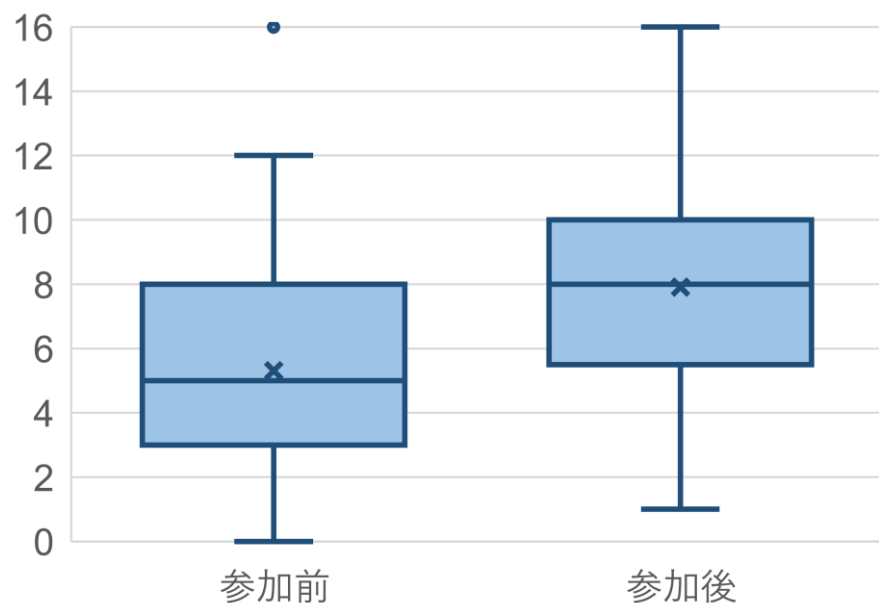
結果・考察①

- ◆参加者の**社会人経験**は、ほとんどが**11年以上**だった。
- ◆**ヘルスサイエンス系図書館での勤務経験年数**は、5年以下と6年以上で半数ずつだった。6年以上のうち約7割が11年以上で、**経験年数は5年以下と11年以上で二極化**していた。初学者と経験年数は長いが自分の知識を再確認したいという参加者の構図がうかがえた。
- ◆研修会の**満足度**について、「満足」と「どちらかといえば満足」をあわせて96%を占めており、全体的に**好評**と捉えた。
- ◆**知識・スキルの自己評価**は、**参加後は全体的にD(不足)の割合が減りA(十分)の割合が増えた**。S(豊富)はあまり変化しなかった。

結果・考察②

「ルーブリック評価表」の回答の、各観点の習熟度を0-4で点数化し、すべての点数を合算したものの(最小 0pt、最大 16pt)を各受講者の知識・スキルのスコアとして利用し、より細かく分析した。

研修会前後の知識・スキルのスコア分布



◆研修会前後の知識・スキルのスコア変化(平均(SD)) ※SD=標準偏差

【参加前】 5.3pt(3.4)

【参加後】 7.9pt(2.9)

【前後差】 2.6pt(2.0)

平均するとスコアが2.6pt上昇していた。
スコアが下がった人はいなかった。

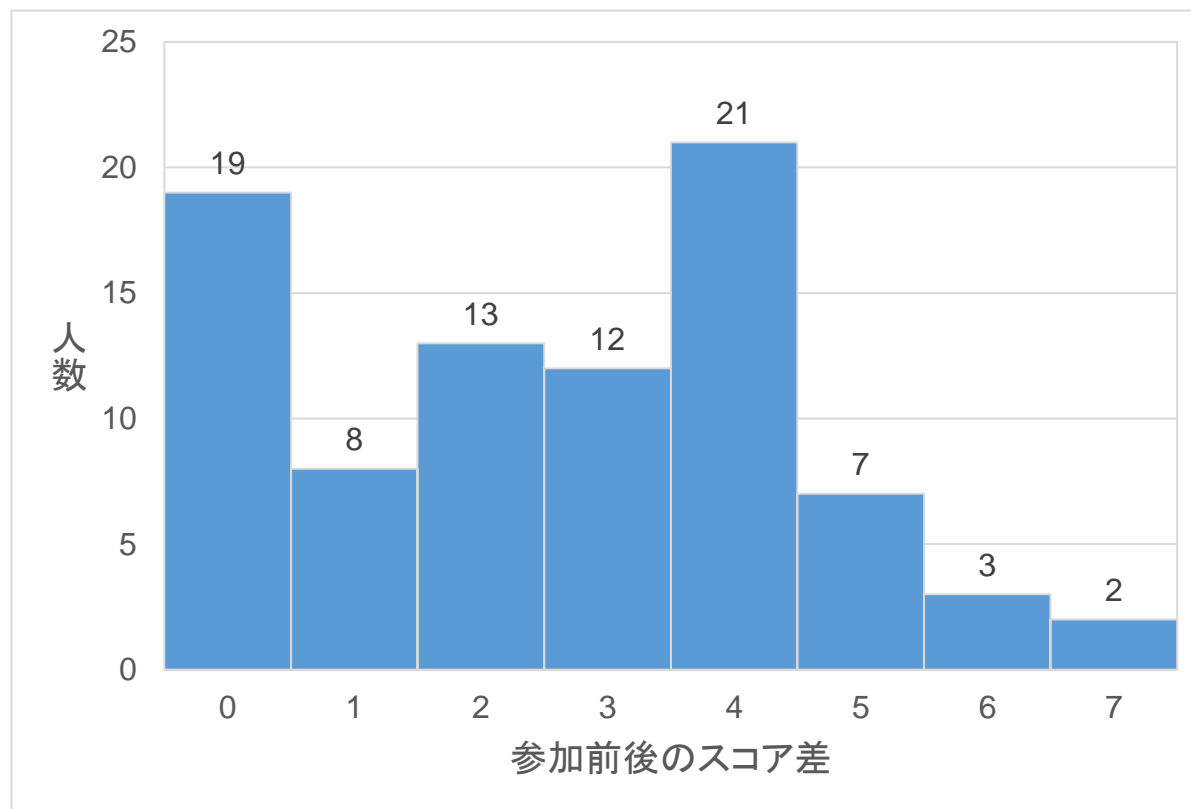
結果・考察③

◆参加前後のスコアの伸びについて、**最大で7pt伸びた参加者もいた。**
もっとも多いのが**4pt伸びた21名(25%)**だった。

◆【参加後】も知識スキルの状態に
変化がない参加者(**スコア差0pt**)は
19名(22%)だった。

この19名は、平均スコア(SD)が
8.6pt(2.8)と全体の平均よりかなり
高かった。

ただし、研修会の満足度は全体の
傾向と差がなかったため、**知識の
再確認をしたい参加者**と考える。



結果・考察④

- ◆【参加前】の知識量の差による影響について、尺度設計上中間となるスコア「8pt」を基準にし、それ未満(0-7pt)と、それ以上(8-16pt)のグループに分けて、前後のスコア差を確認した。

	【参加前】	【参加後】	前後差
	平均(SD)	平均(SD)	平均(SD)
0-7pt(57名)	3.4pt(2.3)	6.7pt(2.6)	3.3pt(1.7)
8-16pt(28名)	9.0pt(2.0)	10.2pt(1.9)	1.2pt(1.5)

参加前スコアが0-7ptのグループの方が、伸びが大きかった。

事前知識のない参加者にも理解しやすい研修を目指しており、目的に合致した研修会を実施できていたと考える。

結果・考察⑤

- ◆経験年数による影響について、ヘルスサイエンス系図書館の経験年数が5年以下と6年以上のグループに分けて、前後のスコア差を確認した。

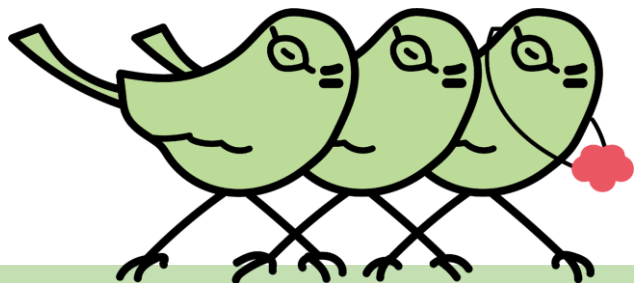
	【参加前】	【参加後】	前後差
	平均(SD)	平均(SD)	平均(SD)
5年以下(43名)	4.9pt(3.5)	7.3pt(3.2)	2.4pt(1.6)
6年以上(42名)	5.8pt(3.2)	8.5pt(2.4)	2.8pt(2.2)

6年以上のグループの方が【参加前】のスコアが少し高かった。
スコアの伸びは同程度だった。

同一の研修テーマに興味を持って参加しているので、**経験年数で知識量や学びに大きな差はうまれなかったもの**と考える。

今後の課題

- ◆設問6(今後、研修会で身につけたい知識やスキルについて教えて下さい)についても分析を行う。
- ◆設問7(研修会の開催は、Webと集合ではどちらを希望されますか)は、オンライン研修会に関するメリット・デメリットの設問を追加し分析を行う。(第4回研修会よりアンケート追加済)
- ◆研修評価アンケート回答数の確保。



第5回研修会のお知らせ

2022年8月11日(祝・木)13:00

[詳細はこちら](#)